



## コロナ禍で生活インフラ化したブランドに高い評価 SDGs 取り組み認知のトップはトヨタ

企業ブランド調査「ブランド戦略サーベイ 2021」発売

2021年9月22日

株式会社日経リサーチ

株式会社日経リサーチ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：福本敏彦）は9月22日、主要企業600社のブランド力を測定・分析する「ブランド戦略サーベイ」の2021年版レポートを発売します。本年の総合ランキングはアップルジャパンが1位となりました。上位企業の特徴を見ると、長期化するコロナ禍の中で、ネット、リアルに限らず新しい生活様式に必要な基盤を提供し、変化する生活者の気持ちに寄り添ったブランドが評価を上げています。

また今回の調査から新たに、SDGsへの取り組みの認知状況を測定しました。コンシューマー、ビジネスパーソンともにトヨタ自動車認知度トップで、自動車業界を中心に取り組み認知が浸透している様子がうかがえます。

今回の調査概要および調査結果のハイライトは以下の通りです。

「ブランド戦略サーベイ」は企業のブランド力をコンシューマー（消費者）とビジネスパーソンという2つの視点から評価する年1回のインターネット調査です。2003年にスタートし、今年で19回目になります。今回は2021年6～7月に実施しました。

ブランド力は「愛着度（ビジネスパーソンは企業魅力度）」、「自分必要度（ビジネスパーソンはビジネス有用度）」、「プレミアム（ブランドプレミアム・価格プレミアム）」、「独自性」、「推奨意向」という5つの指標に基づいて算出した「ブランド知覚指数（PQ = Perception Quotient）」によって評価しています。

総合ランキングは消費者とビジネスパーソン両方の「ブランドPQ」のスコアを統合し、算出した「総合PQ」によるもので、各種ランキングは9月22日付の日本経済新聞17面、日経産業新聞15面、日経MJ3面でも紹介されています。



## 「ブランド戦略サーベイ 2021」総合 PQ ランキングのハイライト

### ●アップル ジャパンが3年連続1位

2019年から3年連続で首位をキープ。昨年から本格的にスタートした5G回線を背景にiPhoneの販売が堅調に推移したこと、遠隔学習や在宅勤務でiPadやMacの需要が増えたことなどが理由にあげられる。加えて音楽・動画配信などサブスクリプション型のサービスも伸びており、常に新しいプロダクト/サービスを提供し続けていることが高評価の背景にあるとうかがえる。

### ●コンシューマー編で大きく躍進したグーグルが総合2位に

巣ごもり環境下で自宅で過ごす時間が増える中、YouTubeの利用者数が大幅に増加したことや、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」をはじめとした各種アプリの配信でプラットフォームとして存在感がさらに高まったと考えられます。

### ●第一四半期で過去最高の業績を記録したTOTOは7位

自宅時間が増える中、「自宅をより快適にするにはどうすれば良いか」といった関心が消費者の中で高まり、リフォーム需要として顕在化した。特に、日々使用する頻度の高い洗面所やトイレ、手をかざして水が出る自動水栓といった水廻り製品が受け入れられており、コロナ禍による衛生意識の高まりの影響も評価を上げた背景にあると考えられる。

### ●トヨタ自動車はトップ10に返り咲き

9位にはトヨタがランクイン。直近2年は10位台にランキングを落としていたが3年ぶりにトップ10入りを果たした。コロナ禍からの回復がいち早く進む米国や中国で販売台数を大幅に伸ばしたことや、国内でも小型車「ヤリス」などの販売が好調であることが評価を上げていると見られる。

### ▼ブランド・企業ごとのランキング(3カ年推移)はこちら

<https://www.nikkei-r.co.jp/service/branding/co-brand/ranking.html#tableau>

### ▼企業ブランド総合評価(総合PQ)ランキングはこちら

<https://www.nikkei-r.co.jp/service/branding/co-brand/ranking.html#ranking>



### 「ブランド戦略サーベイ」の特長は

- ブランドの総合力、浸透レベル、企業活動の成果をそれぞれ測定し、相互の関係性を把握することで、「ブランド価値」の構造を「見える化」します。
- 競合企業とのブランド力比較で、自社の総合的なブランドポジションが把握できます。
- 時系列データを追うことで、ブランドが浸透していく状況や価値の変遷が確認できます。
- 多彩な評価項目を様々な切り口で分析し、自社ブランドがどんな層に受容されているか分かります。
- オンライン上で自由に表やグラフを出力できる分析用ツールをご提供します（一部商品）
- ベイジアンネットワーク、バリューチェーンマップなど多彩な分析アプローチをご用意しています（一部商品）。

■ラインナップ：用途や分析レベルにより 5 種類ご用意しました。ニーズに応じてお選びください。

■価格：400,000 円（本体価格）より

■発売：2021 年 9 月 22 日（水）

企業のブランド価値の構造と、過去から現在までの変遷を「見える化」し、ブランド戦略をサポートする「ブランド戦略サーベイ 2021」をぜひご活用ください。

### ■会社概要

会社名：株式会社 日経リサーチ

住所：東京都千代田区内神田 2 丁目 2 番 1 号 鎌倉河岸ビル

代表者：代表取締役社長 福本敏彦

事業内容：顧客満足度（CS）調査や、ブランド調査、デジタルマーケティングなど各種市場調査を国内外で幅広く展開しています。また、定期的実施する世論調査や企業調査の結果は日本経済新聞などの媒体に多く掲載されています。

URL：<https://www.nikkei-r.co.jp/>【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 **日経リサーチ**

ソリューション本部営業企画部 担当：福田、山田、竹中  
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-2-1

TEL：0120-980-181（平日 9:00～12:30、13:30～17:30）

FAX：03-5296-5110

弊社 HP お問い合わせフォーム

[https://www.nikkei-r.co.jp/contact\\_cobrand/](https://www.nikkei-r.co.jp/contact_cobrand/)